

## 第19回 特別講演会

# ヘビの体のひみつ

徳田龍弘先生（北海道爬虫両棲類研究会会長・ばいかだWILD-PHOTO）

ヘビが面白いと感じる人も、嫌だと感じる人も理由を探っていくと、ヘビの体があまりにも人間と違いすぎて、得体が知れないところが原因だという人も少なくないでしょう。今回は、そんなヘビの体のしくみについてお話をしようと思います。ヘビがじーっとこちらをにらんでいるのはどうしてか、挑発するように舌を出し入れするのはどうしてなんだろう、あんな体でどうやって動いているのか…ちょっと考えるだけでたくさんの疑問が湧いてきます。そんなヘビについての豆知識や、どうしてそういう形になっていったのかと考えられているお話などを交えながら、皆さんとヘビの体についての勉強をしてみましよう。

日本では、ヘビでは国の天然記念物に指定されているものは1つだけで、ここ山口県の岩国市にいるシロヘビが天然記念物に指定されています。このシロヘビも含め、山口県周辺で見られる8種類のヘビたちについてもご紹介したいと思います。このうち2種類が毒を持っている種類ですが、これらについても色々紹介しようと思います。

この講演を通してヘビの「得体のしれないところ」が少しでも解消して、怖かった人も必要以上に怖がらなくてもよかった、興味のある人にもよりヘビに対して深い興味を持ってもらえれば幸いです。



▲アオダイショウの幼蛇

- 開催日時：平成26年7月26日（土）13:00～14:30
- 場 所：豊田ホテルの里ミュージアム 多目的ホール
- 受講料：無 料
- 申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。  
豊田ホテルの里ミュージアム  
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355  
E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
- 申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- 定 員：40名